

事業名	弥富公民館 歴史講座			
ジャンル	家庭教育	・	青少年教育	・ 成人教育
日程	①令和2年10月15日(木) ②令和2年10月29日(木) ③令和2年12月5日(土)	講師	①佐倉市史編さん担当学芸員 ②千葉県文書館 浪江健雄 ③千葉市立郷土博物館 土屋雅人	参加費 ①②③とも無料
対象者	①②③とも市内在住・在勤の成人	参加者数(延べ)	①13人②24人③30人 計67人	募集方法 公民館だより・こうほう佐倉・市ホームページ
趣旨	成人教育事業・佐倉学入門講座『弥富公民館・歴史講座』として、市内成人を対象とし、地域の歴史・文化を学び、伝えていくための講座を行うものです。 本年度は、新型コロナウイルス感染症対応を考慮する中で、地域の伝統・歴史・文化への関心を誘起する契機とすることを意図し、各回単発の『歴史講座』として3回を実施しました。			
内容	①「弥富の歴史を歩く」…八幡神社・岩富城跡・長福寺・熊野神社といった、弥富地区の歴史・社寺を徒歩にて散策しました。ふるさとへの関心と誇りを高め、散策を通して、郷土を学ぶ機会としました。 ②「藩士のルールとワークライフスタイル」…藩士たちがどのような規則のもと生活していたか。関宿藩の執務規則から藩社会の実像に迫り、関連して佐倉市における藩制への興味を高める契機としました。 ③「佐倉炭について学ぶ ～弥富地区との関連も含めて～」…弥富地区においては、佐倉炭をはじめ、様々な商品の生産・商売・流通を行っていた家も多く、当時の弥富における生活を窺い知る事が出来るものです。弥富公民館や弥富小学校では、炭焼きをテーマに体験学習を実施しており、伝統的な生活に触れる事が出来るものです。こうした弥富地区に縁の深い「佐倉炭」について学び、理解を深めることで、地域への愛着と関心を高める契機としました。			
工夫	新型コロナウイルス感染症対策として、密を避けるため定員を少人数とするとともに、現地・会場にて参加できない方のため、及び講座の内容を広く周知する一助として、①「弥富の歴史を歩く」の編集動画をYouTubeで公開、②「藩士のルールとワークライフスタイル」の講座資料を不参加の希望者へ郵送、③「佐倉炭について学ぶ」の講座をオンライン（ZOOM）参加（ライブ配信）、を実施しました。			
成果	各講座とも、満員の参加により、受講者の学習意欲に応える事が出来ました。 昨年度までの「中世の弥富」の歴史講座の中で、「実際に現地を訪ねてみたい・訪ねてみると良いのではないか」、との過去の参加者等の意見に沿い、現地散策を実施し、座学より広がりのある学習を行う事が出来ました。 また、YouTubeやZOOMを活用し、弥富公民館に来る事ができない方への学習機会の提供を行う事が出来ました。			
課題	各講座とも、募集定員を上回る申し込みがあり、YouTubeやZOOMを活用したものの、新型コロナウイルス感染症対策のもと、「集う・結ぶ（つなぐ）」という役割を十分に発揮できたとは言い難いと考えます。新しい生活様式に沿った公民館活動を研究・模索していく必要があります。			

【公民館による事業評価】

項目	評価	視点
必要性	A	・公民館が行う必要があるか。 ・市民や利用者のニーズに合っているか。 ・目的や役割が薄れていないか。 ・事業の休止・廃止した場合の影響は大きいかな。
優先性	A	・事業の優先度は高いか。
公平性	A	・対象者に情報は流れているか。 ・受益者負担はあるか(実費・教材費)
有効性	A	・期待通りの成果が得られているか。 ・さらに成果を高めるためにやり方の見直しは必要か。 ・市民の満足度は高いか。
効率性	B	・事業の効率性はどうか。 ・事業運営に学習者が参画しているか。 ・他事業との統合は考えられるか。
総合評価	A	A：適切で成果が得られている。 C：課題あり、成果があまりない。 B：課題あり、成果はある程度ある。 D：成果が得られていない。
特記		

《凡例》 ← 大きい ← A B C D → 小さい

《判定例》

A	A	A	A	A	A	A
A	A	B	A	B	A	A
A	A	A	B	A	B	B

次年度展望	②	①：事業拡大 ④：目的達成により終了	②：現状規模で継続 ⑤：統合・改善・その他	③：事業縮小
-------	---	-----------------------	--------------------------	--------

成人教育事業 「弥富公民館 歴史講座」

令和2年度 公民館事業評価資料



(岩富・熊野神社)

2

事業①「弥富の歴史を歩く」

- ➡ ふるさとへの関心と誇りを高め、散策を通して、郷土の歴史に触れる。
- ➡ YouTubeで動画公開。



事業①「弥富の歴史を歩く」

9:00①弥富公民館出発	⇒公民館横の階段を上る
9:10②岩富町・八幡神社着	①→②約0.5km (約10分)
9:20③岩富町・八幡神社発	
9:30④岩富城跡着	③→④約0.6km (約10分)
9:45⑤岩富城跡発	
10:20⑥殿山城址・長福寺着	⑤→⑥約2.5km (約35分)
10:45⑦殿山城址・長福寺発	
11:00⑧岩富・熊野神社着	⑦→⑧約1km (約15分)
11:15⑨岩富・熊野神社発	(11:40⑩岩富・コンビニ通過)
11:55⑪弥富公民館着	⑨→⑪約2.5km (約40分)
①→⑪総距離約7.1km (約110分) + 現地滞在等 (約65分)	

事業① 「弥富の歴史を歩く」



(小雨決行しました)



事業① 「弥富の歴史を歩く」



講師…佐倉市市史編さん担当
学芸員 日暮冬樹

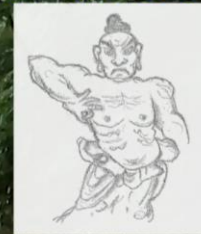
参加者13名



事業① 「弥富の歴史を歩く」

中世の歴史に加え、
昔話のエピソードも。

昔話では、このあたりにあったお寺が壊され、
そこの仁王様は川へ流され、
遠く岩名まで流れつき、
今では岩名仁王尊として親しまれています。



(イラスト・
「弥富のむかし話
金の雉」より)



(流れる仏様↑)

(←ノンノン様)

考察①「弥富の歴史を歩く」

- ▶ 参加定員が限られる。
- ▶ 動画での紹介には限界。
実体験学習の貴重さ。
- ▶ 今回の内容から次への
学習興味・機会に結び付
けたい。(例.昔話等)

参考資料

①やとみのガイドマップ

②弥富村誌

③弥富風土記

④弥富のむかし話 金の雉

※①②は弥富公民館にございます。

③④は市内図書館にもございます。

お問い合わせ 弥富公民館 電話.043-498-0860



事業②「藩士のルールとワーク ライフスタイル」

- ▶ 県内他藩の例から、藩社会の実像に迫り、関連して佐倉市・地域における藩制社会への興味を高める
- ▶ 千葉県文書館の出前講座を活用



事業②「藩士のルールとワークライフスタイル」

- ➡ 感染症対策として
 - 講師の前に衝立
 - 長机1台に参加者1人
 - ⇒ 定員数制限(参加者24名)
 - ⇒ 非参加者の希望者に資料送付



事業②「藩士のルールとワーク ライフスタイル」

- ➡ 会釈の作法として、お互いの身分関係によって、履物や履き方を替える※など、興味深い話題で参加者の好奇心を高めた。

※草履を履く ➡ 下駄を履く ➡
➡ 下駄の鼻緒を外す ➡ 下駄を脱ぐ

考察②「藩士のルールとワーク ライフスタイル」

- ▶ 参加定員が一定数に限られつつも、活発な質問等を行われたが、学んで興味を持って、終わってしまう。
- ▶ 今回の講義を受けて、他藩ではこうだが、佐倉藩ではどうか、等々、次へつながる学習形態が望ましい。

事業③ 「佐倉炭について学ぶ～弥富地区との関連も含めて～」

- ➡ 江戸でも評判が高く有名だった「佐倉炭」弥富地区でも生産・流通が行われていた。
- ➡ 当時の人々のつながり・経済活動を知り、郷土への関心を高める。



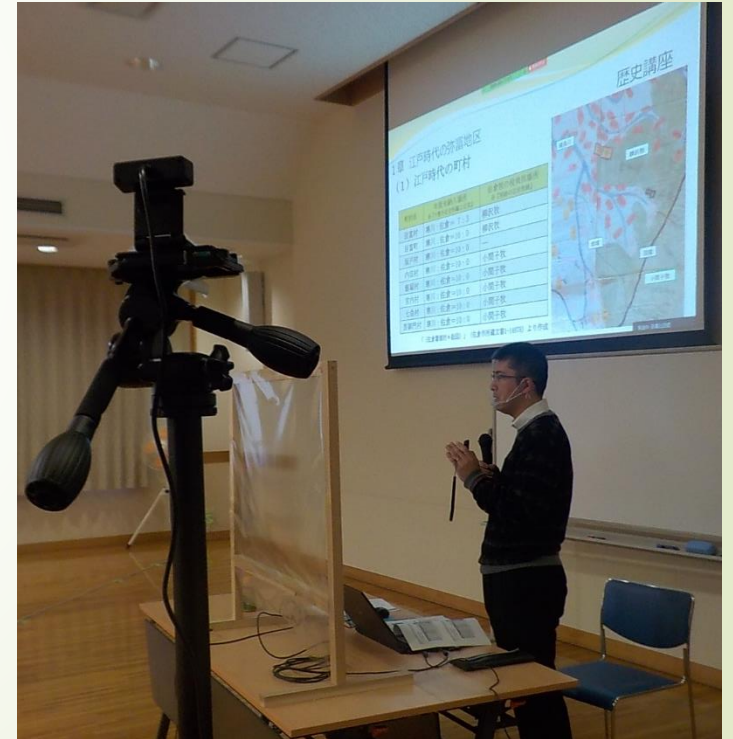
事業③ 「佐倉炭について学ぶ～弥富地区との関連も含めて～」

講師・千葉市立郷土博物館
土屋雅人氏

会場参加 25人

ZOOM参加 5人

(オンライン参加を設定)



事業③ 「佐倉炭について学ぶ～弥富地区との関連も含めて～」

- （講義の導入として）『鬼滅の刃』主人公の家業は「炭焼」
- 講義では、江戸後期における弥富地区の具体的な個人名を資料提示。
- 市広報番組「Weeklyさくら」でも紹介された。
- 当時のエネルギー産業・佐倉藩の経済政策でもあった「佐倉炭」にかかる人達の生活・経済活動を浮かび上がらせた。

考察③ 「佐倉炭について学ぶ～弥富地区との関連も含めて～」

- ➡ 感染症対策の少人数講義に加え、オンライン配信も実施。しかし、ZOOM参加者は少数。遠隔のメリットもあるが、多くの方が会場参加を希望。
- ➡ 地域の歴史への関心の更なる高まり、弥富小学校や弥富公民館での「炭焼き体験事業」の発展、地元での史料探求、などに結び付けたい。

【まとめ】

- ➡ 各講座とも、募集定員を上回る申し込み。
- ➡ 歴史的魅力の発見につながる。
- ➡ YouTubeやZOOMを活用した。
- ➡ 感染症対策のもと、「集う・結ぶ（つなぐ）」という役割を十分に発揮できたとは言い難い。
- ➡ 新しい生活様式に沿った公民館活動を研究・模索していきたい。

